

6 移住・定住の促進

(1) 香美市移住定住促進計画第4期アクションプラン

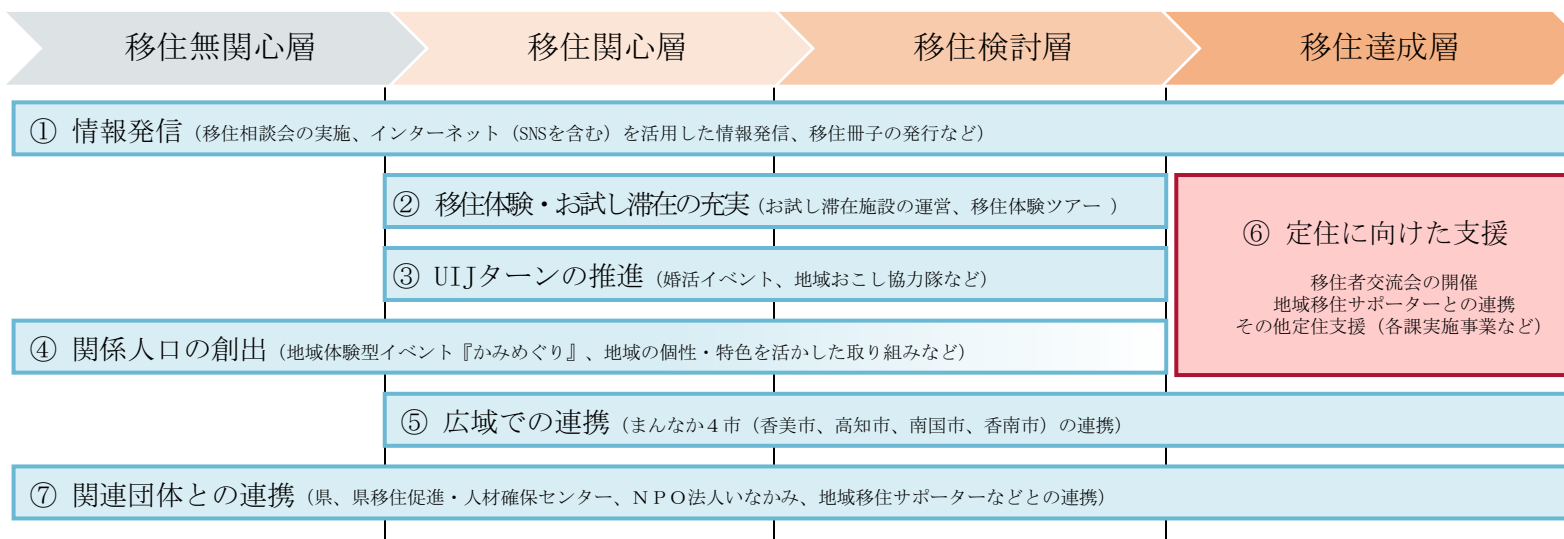
本市では、少子高齢化と市外転出等による人口減少に歯止めをかけるため、国・県そして移住希望者の動向を踏まえたうえで、独自の移住政策を企画し、効果的に発信することで移住を促進します。加えて、移住者に継続的在住支援を行うことで移住から定住を促すととともに、在住者の流出防止策をめざします。

目指す成果

- KPI ① 本市への転入超過数が50人/年以上となること。
- KPI ② 市外からの移住者を25組/年以上受け入れること
- KPI ③ 面談による移住相談数を120件/年以上受けること
- KPI ④ 空き家バンクへ物件を10件/年以上登録すること。



ターゲット・カテゴリーごとの施策

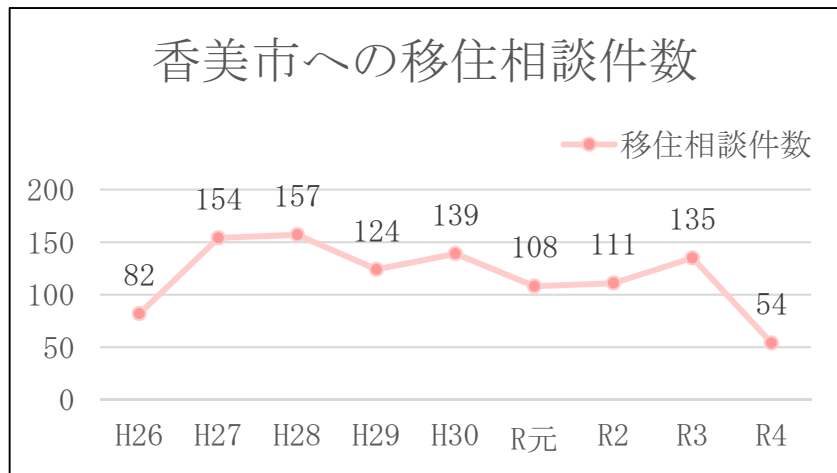
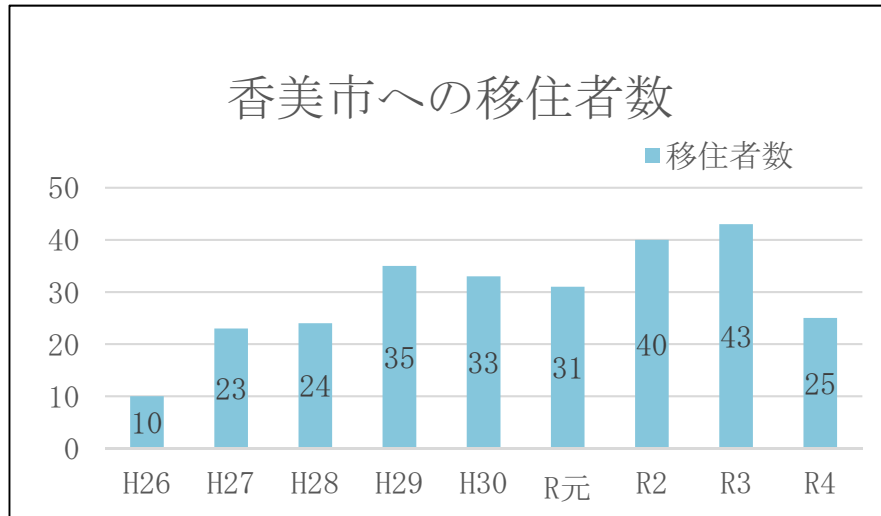


6 移住・定住の促進

(2) 移住組数等の推移と移住者の属性

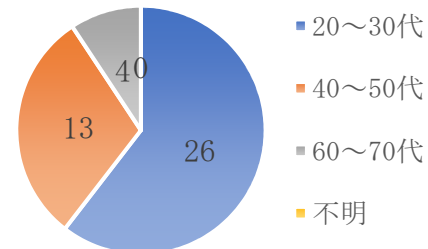
①移住相談件数と移住組数の推移（年度）

令和5年1月31日現在



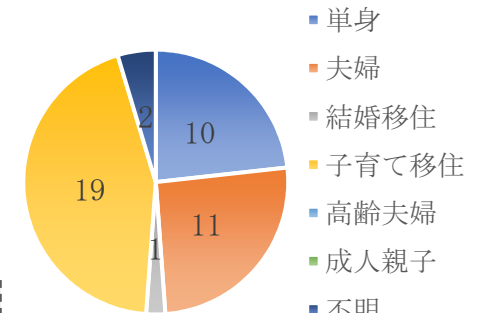
②香美市への移住者の属性（R3年度実績）

世帯主の年齢



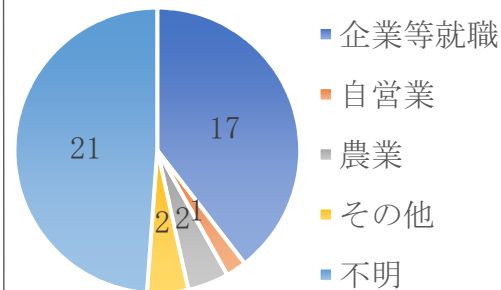
20代から30代の移住が最も多く、子育て層の多くは土佐山田へ移住。

家族構成



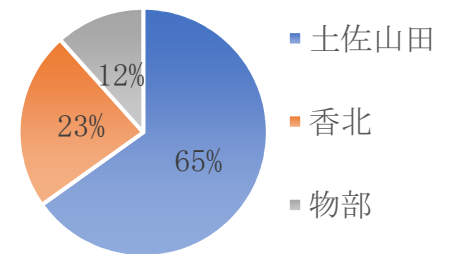
例年、単身での移住が最も多く、次点で子育て層の移住が多い。

世帯主の職種



企業等就職が約3割移住を機に起業するといった方も少数おられます。

移住先



ほとんどが土佐山田ではありますが、令和2年度は物部町への移住が6件ありました。

6 移住・定住の促進

(3) 移住・定住促進のための主な取組

令和5年1月31日現在

① 情報発信

移住希望者が移住を検討する際に必要とする情報の質と量を確保し、効果的な方法で情報発信を行う。

- ◆ 移住冊子『Kami Life』発行
- ◆ 移住動画の制作・配信
- ◆ SNS (Facebook・Instagram)
- ◆ 香美市移住ポータルサイトの活用
- ◆ 高知暮らしフェアへの参加
- ◆ 移住体験ツアーのオンライン開催

② お試し滞在施設の運営

移住希望者が事前に地域の暮らしを知り、住民との交流を深めることを目的に設置。

□ 吉野住宅／単身者向け

長期／中山間地域／4室

利用期間 1カ月以上6カ月以下（1カ月単位）
利用料等 月額15,000円＋共益費
生活家電・家具つき。

R4稼働率：54.5%



□ セトル成矢住宅／ファミリー向け

長期／中山間地域／3室

利用期間 1カ月以上6カ月以下（1カ月単位）
利用料等 月額15,000円
生活家電・家具つき。



③ 移住体験ツアー

先輩移住者の暮らしやDIYをオンラインで巡るツアー。
令和4年度は物部町の空き家を紹介し、田舎の魅力を発信するツアーを開催。

R3参加者：14組

④ かみめぐり

地域体験型イベント『かみめぐり』を令和4年度に開催しました。
本イベントでは地域資源を掘り起こし、プログラムを通してまちづくり・人づくりにつなげるもので、関係人口を増やすことを目的に開催。

R3実績 かみめぐり 参加者289名

□ 23プログラムを企画

23種類の体験プログラムを企画。天候の影響により、1プログラムが中止となりましたが、22プログラムは予定通り開催できました。

□ 関係人口の創出

他市町村に住みながら、本市に興味を持ち、地域に関わっていただく人口を増やすために高知県内全体に対して募集を行いました。結果、全体の6割は市外からの参加となりました。

⑤ 移住者のフォローアップ

□ 移住者交流会

移住後の不安・心配事の解消や、本市への愛着を感じてもらうことを目的に、移住者をつなげるイベントを開催。

□ 地域移住サポーター

移住希望者や移住者からの相談に対するアドバイスや地域の情報提供等を行う（市が推薦・県が委嘱）。

⑥ 高知まんなか移住推進事業

県中央部に位置し、高速道路や主要幹線道路、鉄道、空港など交通網の結節点にあたる香美市・高知市・南国市・香南市が連携し、魅力を発信（相談会・交流会・ツアー等）。



R3実績：交流会2回